

ひかし あらい かいほう

東新井会報

発行：2025年3月9日 第4号
編集：東新井団地自治会広報部

東新井団地 民生委員の方々の紹介



私たち3人は東新井団地自治会を担当している民生委員（兼児童委員）です。民生委員は自治会の推薦をへて厚生労働大臣と市長から委嘱された無償ボランティアの公務員で、地域住民の福祉の一端を担っています。任期は3年で、今年がちょうど改選時期にあたっています。

民生委員の主な役割は、地域住民の相談に応じ、必要な支援や公的サービスにつなげることです。また、高齢者や障害者の見守りや安否確認などにも取り組んでいます。さらに、団地では独自に高齢者に絵手紙がきを配布したり、自治会と共催で「いきいき百歳体操」を集会所で実施したりしています。

ご自身のお困りごとや、近所に困っている人がいたら、お気軽にご相談ください。みんなで助け合って安心で住みよい東新井団地にしていきたいと思います。



山田 輝彦 様

AB団地11号棟から20号棟、D団地、商店街
(電話 080-5379-1084)



延江 節子 様

AB団地21号棟から28号棟、C団地
(電話 048-687-4976)



馬場 裕之 様

AB団地1号棟から10号棟、名店街、ヴィルヌーブ
(電話 070-4114-7548)



東新井団地自治会

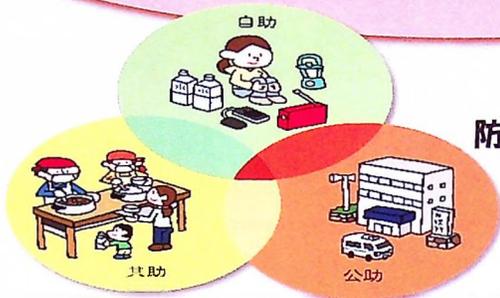
2024.12.15(日)

於：集会所

海老沼中央公園

防災訓練を実施しました！

防災のテーマは「協力・助け合い」です！



当自治会と自主防災会の主催による防災訓練が、見沼消防署による訓練指導の下、ことしも海老沼中央公園で実施されました。寒空の中ではありましたが155名の方が参加され訓練が行われました。災害時には、お互い様の心をもって行動することの大切さ、また、避難時での冷静な対応や心構えを訓練から学びました。「協力・助け合い」—自ら率先して命を守る行動に出ること。参加された皆さんは、真剣に訓練に臨み、熱心に指導員の説明に耳を傾けていました。

昔から「備えあれば憂いなし」と言われます。いざという時のために、平時より自らの防災意識を高めて参りましょう。



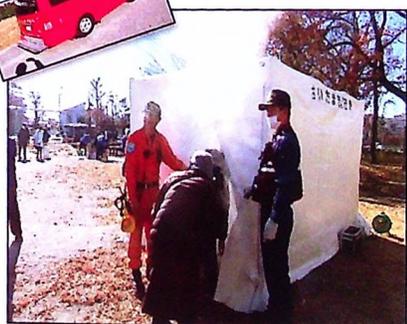
防災訓練スタート！



通報訓練！



消火訓練！



煙中訓練！



防災グッズの展示・説明！



心肺蘇生・AED 訓練！



炊き出し訓練

たくさんのご参加と協力を頂き、
どうもありがとうございました。





新春！凧あげ大会！

2025. 1. 18(土) 13:00 ~ Sponsored by 太陽子供会

太陽子供会育成会の主催による「凧揚げ大会」が、行われました。この大会は毎年開催され、今年も皆思い思いに凧を作りました。参加した子どもたちは、育成会の方たちの丁寧な指導もあって、熱心に凧作りに取り組み、ひとりひとりが、この世でただひとつ、自分だけのユニークな凧を完成させました。記念撮影の後には、気持ちの良い冬晴れの空のもと、寒さをものともせず元気いっぱい凧揚げを楽しみました。

凧の台紙に、思い思いのお好みのシールをかざりました！



どれにしようかなあ～



まずは、シールを選ぼう！



なかなかいいでしょ！



自慢の凧ができました。



よし！ 飛べ！



凧！ 凧！ あがれ！



天まで あがれ！



昨年のごとですが…こんなことも！



ご近所散歩！

中山神社の「鎮火祭」

令和6年12月8日



炭火の上を素足で渡る火渡りは、古くから脈々と伝承されている神事です。ここを渡れば心身の穢れが祓われ、無病息災と火難除けのご利益があるそうです。今年1年の厄払いと新年に向けての願いを込めて、当日は大勢の参拝者で賑わっていました。



お清めのお祓い



炎が高く上昇



火渡りの列が続きます



1年を振り返って



新しい年が明け1か月。もう少しで次の常任委員さん達へバトンタッチ。雨や風に打たれ、荒波も越えて私たちの船はようやく寄港地が見えて来た。

12月の防災訓練は150名ほどが参加され少し寒かったが明るい陽射しのもと自主防災会のリードで有意義な時間となった。

いざという時、少しでも顔なじみでいて声をかけ合える仲間たちであってほしい。この想いは私の胸の中にずっとある。見知らぬ人たちが順番とはいえ、縁あって常任委員になった。

引き継ぎも十分でなく何故か会員が少しずつ減っていった24年度は、夏祭り・文化祭ともに天候に悩まされた。能登半島地震、酷暑、大洪水、ロスの山火事・・・と確実にこの青い星は悲鳴をあげている。アンケートの結果は、ほぼ3つに分かれ、悩んだ末、海老沼中央公園に変更し実施に踏み切った夏祭り。あたふたした状況の中、公園の雑草を率先してきれいにしてくれた人、心配していた空も私たちに味方してくれた。祭り前には涼む場所として集会所を使い、盆踊りの練習を指導してくれた人、テント張りから後片付けまでテキパキ行動してくれた人、敬老の記念品を一人一人に配ってくれた人、40人近い人たちの作品で輝いた文化祭、飾りつけや会場作りに頑張ってくれた人、当日は指揮系統の徹底のまずさから、思わぬ負担をかけてしまった人たち。関わった人たちそれぞれの心の中に様々な思いがあったと思う。苦勞して対応してくれた受付の人、作品監視の人、「語来」を大いに盛り上げてくれた人たち・・・あの箏の音と海老沼小学校の合唱部の歌声、今思い出しても胸が熱くなる。年度初めになかった私たちのスローガンは「大人と子供の輪」に象徴されていた。関わる一人一人の尊厳の一つ一つのかげがえのない生きる姿が大きな輪のなかでゆっくりと生き生きと感じられる世界。そんな夢を抱いていた自分が懐かしくもあり、それだけで心が豊かになったと感じたことに今は感謝している。

今後さらに一層「親睦と融和」を深め、人と人がつながっていける自治会であってほしい。考えや感じ方、表現の仕方がお互い違う人間が、言葉をかけあい心を開くことによってつながっていく、勇気を出してつなげていく、そんな地域社会が広がっていくことを信じている。

自治会活動に関わってくれた多くの人たちに心より感謝するとともに、東新井団地(A・B・C・D団地)商店に住む人々、そして近隣の人たちとこれからも共につながっていきましょう。心豊かな、互いに睦合う地域を目指して人と人がつながる輪をさらに広げて参りましょう。

次の常任委員さんたちの乗る船が無事に発航することを祈って。



会長代理 鈴木 安之

ありがとうございました。

